

地域連携推進会議 議事録

令和 7 年 10 月 17 日（金）10 時～11 時

青山彩光苑ライフサポートセンター

【議題】

①会議出席者の紹介

利用者 1 名、家族 1 名、地域住民 1 名、施設職員 7 名

②利用状況（今年度の入退所）

（地域住民）半年の間でもこれだけの入退所があったのか。

（施設職員）年齢を重ねることで色々な理由から退所となるケースはある。

（地域住民）今は満室か。

（施設職員）満室であるが、微妙に入所者の数は減っている。その為、定員を減らしている状況はある。国の方針においても介護保険が優先となり、脳卒中の方々のような方は入所が難しくなっている。

（家族） 良い時に入れてもらった。（入所することが）だんだん厳しくなることが分かった。

②行事や活動報告

（利用者） 活動の要望について特にはないが、個人的に七尾美術館の長谷川等伯展に行ってきた。

（地域住民）自治会は施設の中にあるのか。

（施設職員）必ず自治会は作らないといけない。昔は家族会も存在したが、今は解散している。

③権利擁護（身体拘束・事故）

（地域住民）異食とは何か

（施設職員）紙など食べ物でないものを食べること。

（家族） 施設での身体拘束とは

（施設職員）当苑ではミトンや部屋の施錠、ベッド臥床時の拘束帯など

④感染対策の取り組み、防災の取り組み

（家族） 防災のことについて、こんなに細かく以前からされていたのは素晴らしい。

防災用の倉庫もあるのか。

（施設職員）倉庫はないが、食堂のデッドスペースを活用している。発災時の反省を生かし、必要な物をすぐに出し入れできるようにしている。

（家族） 過去の経験を活かして見直しされているのは良い。

⑤施設見学での感想や意見

（地域住民）きれいで明るくて特にはない。

（利用者） 設備に関して 居室の名札が古い。

1 号棟トイレの窓のロックが壊れている。

地域交流ホームの絨毯が汚れている。張替が必要ではないか。

（家族） 施設職員はあちこちで声を掛けてくれたり、挨拶をしてくれたり感じがいい。

（施設職員）会議の意見を基に絨毯の張替など必要な改善を行っていく。

